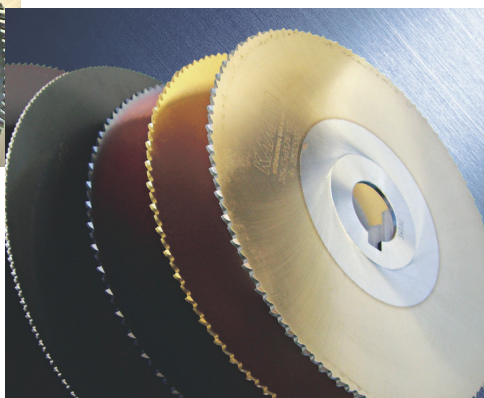


高価でも市場が認める 工業用機械刃物

海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



木質系材料加工用刃物



金属系切断用刃物

業務内容

自社ブランドで多種多様な分野に製品を供給

「KAMIYA」ブランドの工業用刃物で世界展開。用途は木質材料用、鉄鋼・非鉄金属用、プラスチック・樹脂用、食品・紙・フィルム用、窯業系材料用、環境・リサイクル用など多岐にわたり、取引先は400社以上に及ぶ。〝切れ味〟と〝寿命〟には定評があり、神谷明史社長は「価格が高くとも価値評価を頂いている」と胸を張る。新素材の登場など最先端分野も含め、〝切断〟に対する要望は日増しに高まっている模様で、顧客のニーズにあった工業用機械刃物を供給している。

強み

技術力で安定した切れ味と製品の長寿命化を実現

強みは高い技術力。製品は機械に装着されて使われるわけだが、その際の回転速度は毎分200回転から1万回転。高速になればなるほど遠心力が働き、刃物に左右の振れが発生する。そこで同社では切断する加工物に合わせて、刃物本体の材質を選定。0・1mmから3mmの薄い板を100分の1から1000分の1の高精度で平らに仕上げる。そして、熟練の技術者がハンマーで〝腰入れ〟作業を行い、遠心力に対して〝向心力〟が生まれるよう加工し、刃物が高速回転しても振れが全く発生しないようにしている。これら一連の作業を繰り返すことで、切れ味の良さと製品の長寿命化を実現している。

人材育成

OJTと難題挑戦で技術力の向上を図る

顧客の仕様に合わせた一品一様の製品も多いため、現在は技能の伝承と、技術力の向上に力を入れている。同社には10人程度の技術者がおり、腰入れ作業の現場には70歳の熟練者もいる。基本的にはOJTが中心で、加熱や表面処理した時の材質の変化やひずみの調整などを感覚的にとらえるよう指導している。そのほか、無料切削試験サービスを実施しているが、技術力の向上につながっている模様。神谷社長は「これまで扱ったことがない素材も多く、難しい案件にも最先端の情報が収集でき、勉強になる」と前向きで、様々な案件にトライアル中だ。

今後の展望

〝切断〟の問題解決型企業として存在感を追求

切粉が出ない環境対応の刃物「エコナイフ」、従来の鋼製品などに比べて約100倍の長寿命化を図った「PCDダイヤモンド刃物」などの主力商品が順調に推移する。また、刃物コンサルタントが提案・製作し、使用前から使用後までを一貫してサポートするサービスの評判も上々のようだ。今後は海外展開も視野に入れるが、神谷社長は「ニッチな分野だが、〝切断〟に困っている顧客は多い。それを一つひとつ解決提案していくのが当社の使命」と力を込める。



本社

COMPANY PROFILE

神谷機工株式会社

大阪25

ISO 9001

当社の歴史

昭和28年大阪市浪速区で創業。昭和39年大阪市平野区に移転。昭和43年神谷機工に法人改組。平成10年埼玉県草加市に営業所を設立。平成19年草加営業所を東京都江戸川区に移転し、東京営業所とする。同年現本社ビルが完成しています。

あらゆる材料の切断にチャレンジ!

代表取締役社長 神谷 明史さん



■主な事業内容

工業用機械刃物の製造、販売

■主な取引先(納入先)

鉄鋼・鋼管メーカー、自動車、造船メーカー、建材・外壁材・合板・家具メーカー、プラスチックメーカー、食品メーカーなど

住所/〒547-0033
大阪市平野区
平野西4-10-23
TEL/06-6702-3022
FAX/06-6702-3017
創業/昭和28年2月
設立/昭和43年7月
資本金/4,500万円
従業員/30名

<http://www.kamiya-saw.co.jp>